

肺機能検査(肺活量検査)を受診できない既往症について

呼吸機能検査(肺活量検査)は、既往症やその治療の状況により検査が受けられない場合があります。
以下の表で「×」に該当する場合は検査が受けられません
必ずご確認いただいた上でお申込みいただきますようお願いいたします。

	既往 治療し通院終了	発症1か月以内	現在治療中	治療終了後 経過観察中	治療中断 放置	
肺結核	○	×	×	○	×	肺結核菌の排菌がある。またはその疑いがある。
肺炎	○	×	×	×	×	努力呼吸が肺炎の症状を悪化させるか可能性がある。
気胸	○	×	×	×	×	肺の破れている部分に呼吸努力を強いることで悪化させてしまう可能性がある。
肺がん	○	×	×	○	×	肺がんで気管支の圧排があると、息を吐き出すことが困難になり、検査の実施が難しくなることがある。
急性中耳炎 副鼻腔炎	○	×	×	○	×	検査中の呼吸負荷によりこれらの部位に負荷がかかる可能性があるため。
当日血圧 収縮 \geq 200 拡張 \geq 110			×			「いきむ」ことにより脳出血を起こす危険性がある。
急性心筋梗塞 冠動脈疾患	○	×	×	○	×	呼吸努力が必要なため、心臓に負担がかかり、病状の悪化を招く危険性がある。
重症不整脈 Af slowVT 3度房室ブロック			×			Af:140以上
胸部大動脈瘤 (解離有無とも)			×			呼吸時に大きな力を要するため、血圧の急激な変動や心臓への負担が大きくなるリスクがあるため。
腹部大動脈瘤 (解離有無とも)			×			
心臓弁膜症 手術後含む	○	×	×	×	×	静脈や肺から心臓へ還流する血液量の変動が大きくなるので、心臓への負担が増加し、症状、不整脈が悪化する恐れがあるため。
心不全 心筋症・心筋炎等			×			日常の軽い動作でも心臓に負担がかかり、検査によって心臓への負担が増えるため。
脳動脈瘤			×			呼吸努力によって破裂のリスクを伴う可能性がある。
脳出血 くも膜下出血			×			呼吸努力が血圧や頭蓋内圧に影響を与え、病態の悪化を招く恐れがある。
脳梗塞 (麻痺を伴う)			×			高血圧を伴う脳血管障害がある場合は、出血性梗塞など病状悪化の恐れがあるため。
脳梗塞 (無症状狭範)	○	×	×	○	×	
先天性心疾患	○	×	×	×	×	